

令和7年秋の外国人叙勲 チリ受章者

氏名：リカルド・エステラ・ペティト
(Dr. Ricardo Estela Petit)

年齢：73歳

住所：チリ国サンティアゴ首都圏州サンティアゴ県ビタクラ区



功績：医療分野における日本・チリ間の関係強化に寄与

勲章：旭日双光章

国籍：チリ

【主要経歴】 国立サン・ボルハ・アリアラン病院チリ・日本消化器病研究所所長

【主な功績】

同人は、国立サン・ボルハ・アリアラン病院チリ・日本消化器病研究所長を約19年務め、この間に医療分野の協力を通じたチリと日本の関係の強化・深化に非常に大きな貢献を果たしている。

同人は、同研究所の設立時から内科医として在席し、JICAによる日本人専門家の派遣やチリ人医師の本邦研修事業等による日本との協力関係の継続に関わるとともに、平成18年に2代目の所長に就任して以降も、平成22年に大腸がんに関する臨床・科学・学術研究に関する協定書を締結した東京医科歯科大学、チリ保健省及びラス・コンデス病院のプロジェクトにおいて、同研究所が臨床研究機関及び内視鏡研修施設として参画する等、日本との協力関係強化を積極的に展開してきた。さらに、同人は、国内外の医師及び医学生による研修を積極的に受け入れ、日本の最先端の内視鏡検査、病理診断等、消化器疾病の早期診断や治療に係る医療技術の移転・普及に大きく貢献した。

同人は、これらの様々な取組を通じ、医療分野における日本・チリ間の関係強化に寄与している。